

令和 8 年 2 月 6 日(金) 18 時～

会場 中央図書館会議室

令和 7 年度第 2 回 豊島区図書館経営協議会

議事

- (1) 図書館経営協議会 委員意見反映状況について(報告)
- (2) 「にぎやかな公共図書館」の実現に向けて ～施設整備を契機とする空間づくり、サービスのあり方を中心として
〈地域の情報センターとしての図書館、生涯学習の拠点としての図書館について〉
- (3) 「にぎやかな公共図書館」の実現に向けて ～施設整備を契機とする空間づくり、サービスのあり方を中心として
〈読書活動の拠点としての図書館について〉
- (4) その他
報告事項:学校連携について
としま子ども会議の実施について

資料

- 資料 1…令和 6 年度、7 年度 豊島区図書館経営協議会 ご意見対応状況について
資料 2…地域の情報センターとしての図書館、生涯学習の拠点としての図書館について
資料 3…読書活動の拠点としての図書館について
- 参考資料 1…「にぎやかな公共図書館」の実現に向けて(令和 6 年度第 2 回会議資料)
参考資料 2…NDC ピクトグラム
参考資料 3…としま子ども会議報告会資料

令和6年度、7年度 豊島区図書館経営協議会 ご意見対応状況について

資料 1

会期 令和6年度第1回（令和6年7月26日）、第2回（令和6年11月12日）、第3回（令和7年2月7日）、令和7年度第1回（令和7年7月9日）/全4回

No.	テーマ	主要なご意見等の概要	図書館課の対応
1	上池袋図書館の改修について	<ul style="list-style-type: none"> ・「静か」と「にぎやか」の中間層「何をやってもいい場所」、目的無く使える席を作り、余裕を持たせる ・人と人が出会えるスペース、本を通してつながりができる空間づくり ・様々な形で空間を拡大させる(屋上、テラスの活用等) ・商業スペースの導入（カフェの導入等） ・授乳スペース、子どもが動けるスペースがあるとよい ・本を通してママパパのつながりができ、ほっとできる空間づくり ・電車のおもちゃを置くとよい ・館内にベビーカーを置けるスペース等のアクセシビリティ対応 ・乳幼児と来館する際の不便を解消し、長時間滞在を可能に 	<p>いただいたご意見を反映し、1階と2階それぞれに、目的無く過ごせ、飲食もできるラウンジスペースを導入予定。商業スペースの導入には至らなかったが、ゆっくりと時間を過ごせる空間づくりを進めている。また、公園を活用した読み聞かせ企画や、壁面スペースを活用した意見交換の場づくり等、つながりを創出する事業を実施予定。新設するテラスには、上部に折り畳み式の日よけを付け、テラスで読書や飲食を可能にし、快適な空間の拡大を行う。</p> <p>乳幼児と一緒にの利用を促進するため、絵本をメインとした「おはなしの部屋」がある1階は会話可能エリアとし、子どもと過ごしやすい空間づくりを進めている。館内全体の書架の間に余裕を持たせ、ベビーカー、車いすでの移動がしやすくした。ベビーカー置き場についても設計対応を行った。ママパパがつながれるおはなし会等の企画についても、引き続き検討を進める。</p>
2	千早図書館の改築について	<ul style="list-style-type: none"> ・横山光輝、鉄人28号の文化も残してほしい ・食堂やテラスの設置 ・地域文化創造館や公園との連携を活かし、つながる図書館へ 	<p>利用者に愛されてきた横山光輝、鉄人28号の文化は、新館にも活かしていく予定。また、要望の多かったカフェについて、障害者支援団体の運営による導入を進めている。テラスは館内閲覧スペースを確保する必要があったため見送ることになった。今後、「生涯学習の拠点」として、地域文化創造館や公園との連携を更に進めていけるよう、検討を行う。</p>

3	居場所としての図書館について	<ul style="list-style-type: none"> ・座席の時間制限について ・図書館で仕事、読書しようといった、現代人の状況への対応 ・障害者・高齢者も過ごしやすい、大活字本やバリアフリーの一層の取組み 	<p>「閲覧席」は利用者が多く、トラブルも発生しているため時間制としているが、時間制でない席も各館で設けている。中央館ではコロナ禍以降減らしていた椅子席を増設し、時間を気にせず過ごしてもらえる取組を進めている。新上池袋図書館では、ラウンジ席などの居心地よい空間づくりに加え、閲覧席、電車座席型の席で電源を開放し、PCを使った作業等も対応可能にする予定。仕事や読書等、それぞれのスタイルで利用してもらえるようにする。</p> <p>新上池袋図書館では、バリアフリーの取組みとして、車いすでも移動しやすい広い書架や、誰でもトイレの設置、新聞雑誌コーナーに座り心地の良い椅子席を設けるなどの対応を行う。既存館ではりんごのたなの充実や、バリアフリー図書を揃えた書架に大活字本、LLブック、朗読CD等を配架し取組を進めた。</p>
4	地域コミュニティの拠点としての図書館について	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の利用者と図書館のつながり、関係づくりの推進 ・図書館スタッフの人柄が分かると交流がしやすい ・子育て世代同士の交流だけでなく、図書館員や他の世代との交流も ・学生は普段社会人と触れ合う機会がないので、図書館がコミュニティの場所として機能したら良い ・中高生ユースワーカー、ティーンズスタッフ、大学生スタッフの導入 ・イベント等開催時の成果物の作成等、次につながる仕組みづくりがあると、参加者同士の交流につながっていく 	<p>中央館では10代のコーナーの「掲示板」や、児童コーナーのキラキラたまごボックスコーナー等、利用者からいただいた意見に司書がコメントをつけて掲示し、親しみを持ってもらえるよう工夫した。また、4階のCD特設コーナーでは、司書がお勧めCDに人柄がにじみ出るPOPを作成し、貼り付けた。スタッフが選んだ図書を中身が分からない状態で貸し出す「覆面図書」も実施した。</p> <p>赤ちゃん向けおはなし会では、参加者同士、参加者と職員の交流も生まれている。おはなし会の後に、参加者から絵本に関する相談を受ける等、コミュニケーションを重視した読み聞かせ会を行っている。</p> <p>本好きが集まるビブリオトークは、小学生から社会人まで幅広い年代間で交流が生まれている。複数回開催してきたことで、イベントとして定着してきた様子が伺える。その他、2月には世代を超えた交流を目的とした「編み物イベント」を実施し、成果物を児童コーナーに展示予定。</p> <p>ティーンズスタッフ導入については、引き続き検討を進める。</p>

5	児童の利用促進について	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども向けレファレンスが活用できたらよい。 ・図書が古いと感じた。子どもたちが関心を持つ本を入れていく必要がある ・本を使用した参加型のイベントが楽しかったので、そういったイベントも加えてもらえるとよい ・ボードゲームも居場所としてのきっかけになる 	<p>子ども向けレファレンスの活用として、夏休み期間中に「調べものお助けイベント」を実施した。次回以降は、周知方法の検討を進める。</p> <p>児童書の資料選定の方針として、子どもの発達段階や各々の興味・関心に応える資料を収集している。長く読み継がれている本(基本図書)を残しつつ、汚れた本の買い替えや新刊の購入を進め、蔵書の循環を図った。</p> <p>児童向けイベントでは、今年の夏に地域館で「図書館タンテイ」を実施し、好評を得た。</p> <p>居場所としての図書館利用促進案として、新千早図書館では新たにボードゲームを導入予定である。これに先立ち、1月11日に行った子ども向けの「かるた会」イベントの中でボードゲームを取り入れたところ、参加児童が熱中する姿が見られた。</p> <p>巣鴨図書館では、清和小学校とモデル事業終了後も交流が続いており、令和6年度は図書委員のおすすめ本紹介を行った。令和7年度は6年生による外国文学作品の紹介文を提供していただく予定となっており、図書館と学校とのつながりから、利用促進を図っている。</p>
---	-------------	--	--

6	ティーンズの利用促進について	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゆったりと過ごせる場所があると中高生に喜ばれると思う ・ 作品の展示等、中高生自身が関わるものがあると、より足を運ぶのではないかと感じる ・ 明らかに「ティーンズ向け」といわれる資料には、手を出しにくいと感じる ・ ひと棚図書館等、近隣学校の生徒とつながりをもてる企画の実施 	<p>新上池袋館には、グループ学習席や向かい合わせの電車席等、友達と過ごせる席やゆっくりと過ごせる席を設けると共に、YAコーナーのスペース、蔵書ともに大幅に増やす予定となっている。</p> <p>既存館の取り組みとして、中央図書館10代のコーナーでは、月替わりで意見を募集する掲示板を実施。司書からの返信も載せて掲示しており、たくさんの投稿が寄せられている。資料の展示、紹介についても若手司書が中心となり、ティーンズと限定せず、若年層も含めた年代の感性やトレンドを意識し、自然な形で本に手を伸ばせるよう配慮した（特集展示タイトル「マイ容姿、ユア容姿で生きている。」「みんなの推しアニメ」等）。</p> <p>巣鴨図書館で区内の中高生に作成してもらった「ひと棚図書館」は、令和7年度も行っている。ひと棚図書館をきっかけに、近隣中学図書部との交流があり、学校からの要望を受けて文化祭で読み聞かせをする生徒にレクチャーを行った。</p>
7	高齢者・障害者の利用促進について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大活字本やマルチメディアデジター等バリアフリーの一層の取り組みを工夫してほしい ・ りんごのたなコーナーをもっと広める取り組み ・ 障害者・高齢者も来やすく、過ごしやすい図書館 ・ 活字世代へ必要とされる情報、資料（病気の本など）の収集 ・ そよかぜ文庫と地域包括センターとの連携 	<p>中央図書館にバリアフリー図書の棚を設置し、大活字本、LLブック、朗読CD等を配架した。また、りんごのたなに、マルチメディアデジター14タイトルを設置し、りんごのたなの充実を図った他、区役所本庁舎のロビー、待合場所に設置されたデジタルサイネージに表示し、PRを行った。</p> <p>高齢者の来館誘致策として俳句会や街歩き等のイベントを開催したほか、新上池袋図書館では、新聞、雑誌コーナーに座り心地の良い椅子席を設け、ゆっくり過ごしてもらえよう準備を進めている。また、高齢者向けタイトルは需要の多い分野であることから、利用者の興味・関心に応える収集を行っている。</p> <p>そよかぜ文庫を、地域包括センターに紹介したところ、問合せ4～5件、申込2～3件の実績に繋がった。今後も連携を行っていく。</p>

8	広報活動・情報発信について	<ul style="list-style-type: none">・企画等の宣伝が不足していると感じる・様々な年代に合わせたPR（若い世代：SNS）が必要・SNSやショート動画など、若者たちにつながるようなメディアの活用	SNSについては、子育て世代向け「母子モ」アプリの他、豊島区公式Xを活用した。(株)アニメイトとの協働事業では、アニメイトの公式SNSアカウント（X、TikTok）を通じて企画展示のPRを行ってもらう等、積極的な周知活動を行った。また、チラシやポスターも、従来の配架に加え、IKEBUSや区の広報掲示板の活用を行った他、学校図書館に毎月、区立図書館のイベント一覧のチラシの掲示を始めた。
---	---------------	---	---

③地域の情報センターとしての図書館

★情報センター＝区民や利用者が、必要な情報、有益な情報、信頼できる情報を入手できる場
疑問や課題解決を図るための資料等を入手する場

④生涯学習の拠点としての図書館

★生涯学習の拠点づくり＝個人の関心・ライフステージに応じた多様な学びを支援する場
利用者同士が学び合い、地域コミュニティの活性化を促進する場
学んだ成果を発表・共有し、地域に還元できる場



「学び」を起点とした人々の交流と地域貢献を生み出す、能動的な情報・学習センター

A 対象利用者	B 環境整備、サービス、事業（例示）			Ca 整備館 予定	Cb 中央館 現状	Cc 地域館 現状	D 備考 左欄の補足（凡例） ○：対応 △：一部対応 ×：未対応、困難 ？：検討中、不明、評価困難	E 留意点等
共通	ハード	①情報アクセス環境の整備	①-1 インターネット環境の整備（WiFi）	○	○	○		デジタル環境の整備は予算との兼ね合いが問題となるが、現時点でどこまで整備するのが適当か。
			①-2 インターネット検索専用のPC端末（オンラインデータベース席等）	△	○	×		
			①-3 電源コンセントの設置・解放	○	△	△	PC持ち込み席は電源開放中	
			①-4 コピー機等の設置	○	○	○	コピー機は全館設置済。更なる環境整備は検討中	
			①-5 電子書籍の充実	○	○	○	指定管理会社の自主事業として実施	
	②学びのスペースの整備	②-1 個別学習・研究スペース	○	△	△	既存館は持ち込み資料のみを使用した習利用不可	既存館におけるスペース確保は物理的に難しい。代替案はあるか。	
		②-2 グループ学習スペース	○	×	×			
		②-3 交流・活動スペース	○	×	×			
	③情報・資料の収集、発信	③-1 行政情報・地域情報の収集・発信	？	△	△	行政情報の収集は進めている。配架、発信方法に改善の余地あり	・豊島区の計画等のペーパーレス化推進で紙媒体の行政資料収集が難航しており、HPに行政資料リンクを掲載している現状をふまえ、各種資料を必要な利用者に届けるために、効果的な発信方法とはどういったものが考えられるか。 (タブレットの導入等) ・女性をテーマにした図書（暮らし、体、病気、出産育児など）を集めたコーナー等、利用者の関心が高いテーマに特化したコーナーの設置についてご意見をいただきたい。	
		③-2 郷土の歴史に関する資料の収集・発信	○	○	○			
③-3 利用者のニーズに対応できる、幅広いテーマとレベルの資料収集		○	○	○				

A 対象利用者	B 環境整備、サービス、事業（例示）			Ca 整備館 予定	Cb 中央館 現状	Cc 地域館 現状	D 備考 左欄の補足（凡例） ○：対応 △：一部対応 ×：未対応、困難 ？：検討中、不明、評価困難	E 留意点等
	ソフト	④多様な学びの支援、学習・交流を促進する事業の実施	④-1 学習を促す展示 （社会課題に関するテーマ展示等）	?	○	○		学校との連携拡充には、予算と人員の確保が必要である。
			④-2 多様性を尊重する情報の収集、発信 （国籍や性自認・性志向、性別固定観念、思想等）	?	○	○	関連資料の収集、男女平等推進センターとの連携による展示等を行った	
			④-3 利用者のニーズに応じた、課題解決・学び・交流を促すプログラムの実施	?	△	△	各館が様々なプログラムを行っているが、改善の余地あり	
			④-3 学校との連携（調べ学習の支援等）	?	△	△	今後、更なる連携を進める必要あり	
	ソフト	⑤ボランティア、学習グループ活動の支援	⑤-1 ボランティア活動グループの育成	?	○	×		ひかり文庫では音訳・点訳・拡大写本それぞれ、製作と校正を有償ボランティアで行っているが、ボランティアの高齢化等が進み、会員数が減少しているため、持続可能な事業のあり方を検討したい。
			⑤-2 グループに対するレファレンス、活動支援	?	○	△		
			⑤-3 活動場所の提供	?	○	○		
	ソフト	⑥職員の専門性向上と利用者支援	⑥-1 レファレンスの充実	?	△	△	レファレンスの正しい利用方法を周知し、利用率を上げる必要あり	司書の知識、経験によりレファレンスに差が生じないよう、レファレンスのデータベース化やOJT等の工夫が必要。データベースの構築には予算と人員の確保が必要である。
			⑥-2 ブックリスト・パスファインダーの整備	?	△	△	ブックリストは整備済み	
			⑥-3 職員の専門知識の向上のための研修	?	○	○		
	ソフト	⑦成果の発表機会の創出	⑦-1 成果の発表・共有の機会	?	△	△		成果の発表・還元が、読み聞かせボランティアの活動など、限定的である。より多くの成果を発表・還元するためには、何が必要か。 (大人の調べる学習コンクール等)
			⑦-2 成果の地域への還元	?	△	△		

⑤ 読書活動の拠点としての図書館について

★読書活動の拠点 = 年齢、障害の有無、母語等に関わらず、読書の楽しさに出会える場

日常生活を豊かにするために、地域住民が気軽に図書資料に親しめる場

まちのあらゆるところに、読書の楽しさに触れることができる機会を創出する場

A 対象利用者	B 環境整備、サービス、事業（例示）		Ca 整備館 予定	Cb 中央館 現状	Cc 地域館 現状	D 備考 左欄の補足（凡例） ○：対応 △：一部対応 ×：未対応、 困難 ?：検討中、不明、評価困難	E 留意点等
I 共通	ハード	①座席の増設	○	△	×		・オープンスペースで静寂席とおしゃべり可能席を 区分けする場合、どのような対策が必要か。 ・新上池袋館は1階がおしゃべり可能席、2階が静か な席とフロアで分ける予定だが、2階の静かな閲覧席 でもPC持ち込みを可能にしようと考えており、機器 操作音がうるさい等のクレームが予想される。
		②席の区分分け（静寂席、会話可能席等）	○	△	△		
		③ゆっくり過ごせる読書スペース	○	△	△		
		④資料が探しやすい配架、表示	○	○	○		
		⑤オンライン・デジタル環境の整備	?	○	?		
		⑥幅広い資料の収集・提供	○	○	○		
	ソフト	⑦本との出会いを演出し、読書の意欲を高めるためのプログラム	?	○	○	各館で様々なプログラムを実施 しているが、不十分	
		⑧司書のレファレンス能力の向上	?	△	△		
		⑨ブックリスト、パスファインダーの作成・提供	?	△	△		
		⑩広報・PRの強化	?	△	△		
		⑪他機関との連携による館外活動の推進	?	○	○		
II 子育て中 の利用者	ハード	①授乳・おむつ替えスペースの設置	○	○	×		
		②親子が座って一緒に本を楽しむスペース	○	○	△		
		③児童コーナー付近で子育てに関する本を読む環境の整備	?	○	△		
	ソフト	④赤ちゃん・幼児向けおはなし会の充実	○	○	○		
		⑤子どもの発達段階に応じた選書支援	○	○	○	ブックリスト、区民ひろばでの ファーストブック案内を実施中	
		⑥親子で楽しむ本や図書館を使ったプログラム	○	○	○		
		⑦公園や商業施設など図書館外で親子が本に親しめるプログラム	○	○	○	公園での青空おはなし会、サンシャ インおはなし会等	

A 対象利用者	B 環境整備、サービス、事業（例示）		Ca 整備館 予定	Cb 中央館 現状	Cc 地域館 現状	D 備考 左欄の補足（凡例） ○：対応 △：一部対応 ×：未対応、 困難 ？：検討中、不明、評価困難	E 留意点等
III 小学生	ハード	①多様な読書スペース（グループ席、静寂席、会話可能席等）	○	×	×		<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の読書を推進するには、どのようなプログラムが有効か。 ・電子図書館の学校利用についてどう考えるか。
	ソフト	②読書推進プログラム、イベントの開催	○	○	○		
		③学校との連携（団体貸出・ブックトーク等）	○	○	○		
IV 中学生 高校生	ハード	①専用スペース、専用席の設置	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・中高生の読書を推進するには、どのようなプログラムが有効か。 ・電子図書館の学校利用についてどう考えるか。
		②中高生が親しみやすい資料の収集	○	○	○		
	ソフト	③中高生向けの読書プログラム・ワークショップ（ビブリオトーク等）	○	△	○		
		④学校との連携（団体貸出・ブックトーク等）	○	○	○		
V 若年層 (20代、30代)	ハード	①多様な読書スペース（グループ席、静寂席、会話可能席等）	○	×	×		<ul style="list-style-type: none"> ・若年層をターゲットにする際、どのような情報を発信したら興味を持ってもらえるか。 ・若年層にリーチできるプログラムはどのようなものがあるか。
		②若年層が興味を持ちやすい資料（仕事やキャリア、ライフプラン等）の収集・提供	○	○	○		
	ソフト	③図書館を通じて他者とゆるやかに繋がるプログラム・イベントの開催	?	?	?		
VI シニア層	ハード	①新聞や雑誌、図書資料をゆっくり楽しめるスペース	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の読書意欲を高めるために、どのような施策が有効か。（大人の読書ノート等）
		②シニア層が興味を持ちやすい資料の収集（リタイア後の時間を豊かにする資料、健康に関する資料等）	○	○	○		
		③大活字本の充実	?	○	△		
	ソフト	④シニア向けプログラム、イベントの開催	?	△	△		
VII 障害者	ハード	①館内のバリアフリーの強化	?	×	×		<ul style="list-style-type: none"> ・既存館では、大規模な工事・予算を伴うハード面のバリアフリー化に難しさを感じている。大きな工事等を伴わずにバリアフリー化を進められるものはないか。 ・現在、中央・巣鴨・駒込の3館で実施している「りんごのたな」を、全館に広げていきたい。
		②優先席の設置	?	○	△		
		③読書支援機器の導入（拡大読書器、リーディングトラッカー等）	?	○	○	中央図書館4階にある拡大読書器機を新型機に入れ替え	
	ソフト	④バリアフリー図書の充実	?	○	○		
		⑤そよかぜ文庫、バリアフリー図書のPR	?	△	△	障害福祉課等、他課との連携の余地あり	
		⑥ボランティアとの協働による音訳資料・点字資料の充実	?	○	×		

A 対象利用者	B 環境整備、サービス、事業（例示）		Ca 整備館 予定	Cb 中央館 現状	Cc 地域館 現状	D 備考 左欄の補足（凡例） ○：対応 △：一部対応 ×：未対応、 困難 ？：検討中、不明、評価困難	E 留意点等
		⑦公益社団法人 文字・活字文化推進機構との連携	?	○	×	凸面点字器「トツテンくん」を使用した、児童向け点字イベントの開催	
VIII 日本語が苦手な外 国籍や外国にルー ツのある利用者	ハード	①多言語、外国語図書の積極的な収集	?	○	△		・「分類名」等、やさしい日本語表記が難しいもの については、どのような対応が有効か。 ・キハラ（株）が公開するNDCピクトグラムも導入 検討の余地あり
		②やさしい日本語の資料の収集	?	△	△		
	ソフト	③やさしい日本語の活用（利用案内、館内表示等）	?	○	△		
		④多文化理解を促進するプログラム、イベントの開催	?	△	△		